

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 松本 洋子	電話番号	0852-22-5909
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	学校施設バリアフリー化事業		
目的	(1) 対象	県立学校の児童生徒に対して	
	(2) 意図	障がい等があっても支障なく学校生活を送れるようにする。	
事業概要	障がいをもつ児童・生徒が県立学校において広く教育を受けることができるよう、自立状況に応じてエレベーター、スロープ、手すり、多機能トイレ等を整備し、学校施設のバリアフリー化を行い教育環境の充実を図る。		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	エレベータの設置率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値			52.90	57.10	59.20	
式・定義	設置校/県立学校総数	実績値	51.00	52.90	57.10	59.20			
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
	目標値		0.00	0.00					
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
	達成率		0.00	0.00			%		

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	5,957	49,000
うち一般財源(千円)	5,957	49,000

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての県立高校においてバリアフリー化が進むことが望ましいが児童・生徒の在籍状況、進学希望状況、学校施設状況を勘案し、順次整備を進めている。</li> <li>エレベーターについては、平成26年度末時点で県立学校49校に29台のエレベーター設置済み。</li> <li>手すり、スロープ、多機能トイレ等は順次整備を行っている。</li> </ul>
--

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<p>H26年度は下記の整備を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手すり設置（松江ろう学校）</li> <li>多機能トイレ整備（松江清心養護学校）</li> <li>肢体不自由児送迎車両寄せ整備（ 〃 ）</li> <li>避難階段塗装（盲学校）</li> <li>段差解消（松江緑が丘養護学校）</li> </ul>
---

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒の在籍状況等により必要な整備については順次実施している。</li> <li>施設の老朽化や児童・生徒の状況の変化、エレベーターの更新等によりバリアフリー化のニーズは継続的にある。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築年が古いためバリアフリー対応されていない学校施設がある</li> <li>学校施設の老朽化</li> <li>児童・生徒の障がいの重度化・多様化</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備箇所や内容の優先順位をつけ、学校施設のバリアフリー化整備を行う必要がある。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒が支障なく学校生活を送れるよう、児童・生徒の在籍状況や学校施設状況等に応じて順次必要な整備を進める。</li> </ul>
---

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）

--